

様式第1号

粉じん又は有害ガスに係る特定施設設置届出書の記入例

富山県知事 ○○ ○○ 殿  
市町村長 ○○ ○○ 殿

特定施設設置~~(使用)~~届出書

令和○年○月○日

届出者 住所 〒○○○-○○○○  
○○県○○市○○町○○番○○号  
氏名 ○○株式会社  
代表取締役 ○○ ○○  
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

注意点  
・これは特定施設を新たに設置する場合の記入例です。  
・届出書は各区分（下記を参照）ごとに作成してください。  
様式第1号：特定施設設置届（全ての区分で共通）  
別紙1～3：ばい煙に係る特定施設  
別紙4～5：粉じん又は有害ガスに係る特定施設  
別紙6～8：汚水又は廃液に係る特定施設  
別紙9：悪臭に係る特定施設  
・特定施設の着手予定日の60日前までに届け出てください。  
(すでに着手している場合やこれより期間が短くなる場合は相談してください。)

年号又は西暦（西暦は4桁）で記入する。

該当するもの以外は、取消線を入れる。

届出者又は代表者の氏名等を記入する。  
(代表権のないもの(例えば工場長)が届出をする場合は、  
①代表者と工場長を連名で記入（委任状不要）  
または  
②工場長を記入し、委任状（写し可）を添付  
※ 届出書・委任状ともに押印は不要

特定施設設置工場又は事業場の名称を記入する。

上記工場又は事業場の住所を記入する。

日本標準産業分類の中分類を記入する。

(1)は原料の成分割合、反応率等からばい煙や汚水の濃度等を計算したものやカタログ値等を添付する。  
(2)は工場又は事業場の場所を明記する。（色つけするなど見やすく）  
(3)は特定施設の設置場所を明記する。（色つけするなど見やすく）  
(4)は操業の系統がわかるフロー図等に特定施設を明記する。（色つけするなど見やすく）  
(5)は設計図、カタログ図面等を添付する。

富山県公害防止条例第9条第1項~~(第10条第1項)~~の規定により、特定施設（騒音に係る特定施設を除く。）の設置~~(使用)~~について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	○○株式会社 ○○工場 (電話番号) ○○○-○○○-○○○○		
工場又は事業場の所在地	富山県○○市○○町○○番○○号 (郵便番号) 〒○○○-○○○○		
事業内容	化学工業		
資本の額又は出資の総額	4,000 万円	敷地面積	10,000 m <sup>2</sup>
公害防止のための管理責任者氏名	公害防止統括者 ○○ ○○	作業場面積	屋内 7,000 m <sup>2</sup>
常時使用する従業員数			117 人
△ 特定施設の種類	別紙のとおり	※ 市町村受理年月日	年 月 日
△ 特定施設の構造	別紙のとおり	※ 受理年月日	年 月 日
△ 特定施設使用の方法	別紙のとおり	※ 整理番号	
△ ばい煙等(騒音を除く。)の処理の方法	別紙のとおり	※ 施設番号	
添付書類	(1) ばい煙の濃度等に関する説明書 (2) 工場又は事業場の付近の見取図 (3) 工場又は事業場の敷地内の建物配置図又は特定施設(騒音に係る特定施設を除く。)の配置図 (4) ばい煙等(騒音を除く。)発生又は排出及びばい煙等(騒音を除く。)の処理に係る操業の系統の概要を説明する書類 (5) 特定施設(ばい煙に係る特定施設に限る。)の構造概要図及びばい煙等(騒音を除く。)の処理施設の構造概要図		
※市町村長の意見又は審査結果			

備考 1 ※印欄には、記載しないこと。

2 △印欄の記載については、次の表の区分による書類によること。

区 分	特 定 施 設 の 種 類	特 定 施 設 の 構 造	特 定 施 設 の 使 用 の 方 法	ばい煙等(騒音を除く。)の処理の方法
ばい煙	別紙1	別紙1	別紙2	別紙3
粉じん又は有害ガス	別紙4	別紙4	別紙4	別紙5
汚水又は廃液	別紙6	別紙6	別紙7	別紙8
悪臭	別紙9	別紙9	別紙9	別紙9

粉じん又は有害ガスに係る特定施設の種類、構造及び使用の方法

粉じん又は有害ガスに係る特定施設の種類	6-(1) 反応施設	←	該当する特定施設の項番号及び名称を記入する。(施行規則 別表第1の2参照)	
特定施設の工場又は事業場における施設番号	反応槽-001	←	当該工場又は事業場で当該特定施設を特定するために用いる番号、名称等を記入する。	
基数	1基			
名称及び型式	反応槽 〇〇社製 HANNO_01	←	名称、製作メーカー及び型番を記入する。	
規模・能力	300L	←	・特定施設の種類によっては、用途及び規模・能力の確認が必要となるので、その値を記入する。(施行規則 別表第1の2を参照) ・なお、業種や事業規模が届出要件を満たすかも併せて確認する。	
着手予定 <del>設置</del> 年 月 日	令和〇年〇月〇日	←	←	
使用開始予定 年 月 日	令和〇年〇月〇日		該当するもの以外は、取消線を入れる。	
使用の方法	種類	〇〇、□□	←	
	使用割合	〇〇 : 60% (容量比) □□ : 40% (容量比)	←	
	1日の使用量 (kg/日)	〇〇 : 150 □□ : 100		
	使用温度 (°C)	50		
	使用圧力 (kg/m³)	常圧		
	1日の使用時間及び月使用日数等	0時~24時 24時間/回 1回/日 31日/月	時~ 時 時間/回 回/日 日/月	
	製品回収率 (%)	100%		
参考事項				

- 備考 1 粉じん又は有害ガスに係る特定施設の種類欄には、富山県公害防止条例施行規則別表第1の2に掲げる項番号及び(1)、(2)等の細分があるときはその番号並びに名称を記載すること。
- 2 粉じん又は有害ガスに係る特定施設設置の届出にあつては着手予定年月日を、粉じん又は有害ガスに係る特定施設使用の届出にあつては設置年月日を記載すること。
- 3 粉じん又は有害ガスに係る特定施設設置の届出にあつては着手予定年月日を、使用開始予定年月日を記載する必要はないこと。

粉じん又は有害ガスの処理の方法

処理施設がない場合  
(煙突のみ)の記入例

処理施設がある場合  
の記入例

使用又は発生する粉じん又は有害ガスの種類		メタノール	メタノール	
処理施設の工場又は事業場における施設番号		-	除害塔-001	
処理施設の名称及び型式		-	除害塔 〇〇社製 JOGAI_01	
着手予定年月日		令和〇年〇月〇日	令和〇年〇月〇日	
使用開始予定年月日		令和〇年〇月〇日	令和〇年〇月〇日	
処理能力	排気型式	自然・押込・誘引	自然・ <u>押込</u> ・誘引	
	風量 (m <sup>3</sup> /分)		70	
処理に要する消耗資材	資材名		活性炭	
	用途		メタノール吸着	
	1日の使用量		50kg/日	
処理効果	粉じん又は有害ガスの濃度	測定方法	検知管	検知管
		処理前	20 ppm mg/Nm <sup>3</sup>	100 ppm mg/Nm <sup>3</sup>
		処理後	20 ppm mg/Nm <sup>3</sup>	5 ppm mg/Nm <sup>3</sup>
	排出ガス温度	捕集効率	-	95%
		処理前 (°C)	25	40
		処理後 (°C)	25	25
排出ガス量 (Nm <sup>3</sup> /時)	最大	4,000	4,000	
	通常	3,000	3,000	
排出速度 (m/秒)		8	8	
参考事項				

発生する粉じん又は有害ガスを記入する。(有害ガスの種類については、施行規則 別表第1の2の備考2参照)

当該工場又は事業場で当該処理施設を特定するために用いる番号、名称等を記入する。

除害塔、サイクロン、バグフィルタ、スクラバーなどの種類の別、メーカー及び型式を記入する。

該当するもの以外は、取消線を入れる。

・濃度は乾き排ガス量中の濃度を記入する。  
・ND等と記入する場合は「ND (<0.2)」のように数値も記入する。  
・規制基準については、施行規則別表第2の2を参照

・排出ガス量は、湿りガス量を記入する。  
・「最大」は施設を定格で運転させた場合の数値を、「通常」は平均的な運転状況の場合の数値を記入する。

備考 1 粉じん又は有害ガスに係る特定施設設置の届出にあつては着手予定年月日を、粉じん又は有害ガスに係る特定施設使用の届出にあつては設置年月日を記載すること。  
2 粉じん又は有害ガスに係る特定施設設置の届出にあつては着手予定年月日を、使用開始予定年月日を記載する必要はないこと。